

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

| | | | | |
|--------------|--|-------------|----|----------------------|
| ① 対象者 | 2011年6月1日～2013年5月30日に大腸癌に対し手術を行い、病理学的な深達度がpT3,4aの患者様 | | | |
| ② 研究課題名 | 大腸癌における漿膜弾性線維浸潤 | | | |
| ③ 実施予定期間 | 承認日 ～ 2019年12月 | | | |
| ④ 実施機関 | 静岡がんセンター | | | |
| ⑤ 研究代表者 | 氏名 | 陳 開 | 所属 | 大腸外科 |
| ⑥ 当院の研究代表者 | 氏名 | 陳 開 | 所属 | 大腸外科 |
| ⑦ 使用する検体・データ | 病理標本、電子カルテ情報 | | | |
| ⑧ 目的 | <p>大腸癌の深達度において、pT3は癌が固有筋層を超えて浸潤し、漿膜下層までに留まると定義され、pT4aは癌が漿膜表面に接しているか露出するものと定義されます。癌の最深部は漿膜が膠原線維に置換される症例が多く、HE染色では漿膜の判別が難しいです。そのような症例でも漿膜弾性線維は免疫染色で確認できることが多く、良いメルクマールになる可能性があります。漿膜弾性線維浸潤の有無で深達度を再評価し、現行のpT3、pT4aと比較検討します。</p> <p>さらに、当院ではcT3以深症例に対し洗浄腹水細胞診を行っており、弾性線維浸潤と洗浄腹水細胞診の関連も検討する。</p> | | | |
| ⑨ 方法 | 大腸癌術後の患者様の病理標本を再度見直し、診療録から必要な情報を収集し、解析を行います。新たに追加検査を行うことはありません。 | | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2018年10月24日 | | |
| ⑪ 公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | |
| ⑫ プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。 | | | |
| ⑬ 知的財産権 | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。 | | | |
| ⑭ 利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | |
| ⑮ 資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。 | | | |
| ⑯ お問い合わせ | 連絡先 | 臨床研究事務局 | 電話 | 055-989-5222（内線3379） |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長